

柵の木からの手紙

2019年 2月号



初雪の遅れを懸念されながら始まった冬。北海道の日本海側は大雪。オホーツク海側は小雪で推移する冬。そんな中、昨年11月下旬より網走で開催されていました「ガイドスタートアップセミナー」は全5回、1月18日で終了しました。この間、ガイド中の事故を想定しての救急救命の講義は地域の中でも設置が進んでいる「AED」の取扱を実際に行う事ができて価値あるものでした。

最終日には、東京農業大学の黒滝教授による「網走の地域財産を知る」講義があり、地域の歴史を紐解く中で地域の良さに気付く事、セミナー全体のまとめでは、グループに分かれて体験ツアーの案内を作成して発表がありました。

2月 如月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

4日： 立春

5日： 新月 :旧 1月1日 正月元旦

11日： 建国記念日

19日： 雨水

20日： 満月 :旧 1月16日



体験ツアーの内容は、偶然ヨガの講師が参加されていたので有名無名の自然環境の中でヨガで体を整え、軽い食事をして終了する体験。他2件。発表された体験プログラムにしても、一度決めたら固定されてしまう内容と毎回変化して行く内容とある事に気付きました。参加者からしてみると一度参加したら終わりの形と何度でも参加したくなる形。或は、体験した事のある人を増やすか、参加者個人のスキルアップに繋がるプログラムか。



雪の少ない冬。1月号の「暦と気象」から見ると今年、旧正月と立春が同じ頃で平年並みの天候とされるが旧正月と最初の未の日の関係では雨が多い。そして日蝕があったので凶作が多い、とされています。そんな時でも、畑での体験活動を地道に継続して行く事と、せっかくの自然農法の畑で、家庭菜園的な取り組み、地域に必要とされる農産物を作る取り組みを始めたいと考えています。

農家として単品を多く作る事も大切ですが、生活に根差した家庭菜園を行える事も大切だと思っています。